



## 新たな決意

校長 五十嵐 圭一

3年生は、2月26日（金）、県公立高校の学力検査に臨みました。本年度の県内の中学校の卒業予定者は、61,742人。この内、2月22日現在、県内の全日制の県公立高校を希望する生徒は、39,305人。全日制の県公立高校の募集人員が36,040人（転編入入学者を除く）ですので、倍率は、1.09倍となり、前年度同期より0.03ポイント下がりました。今年度の県公立高校学力検査は、新型コロナウイルス感染症に伴う対応により臨時休業期間が長期に及んだことを踏まえ、出題範囲が5教科全てにおいて縮小されました。また、新型コロナウイルス等に感染するなどして、2月26日に学力検査を受検できなかった場合の対応策として、3月3日に追検査、12日に特例追検査などが実施されます。8日（月）には、それぞれの高校において、入学許可候補者の発表が行われます。朗報を待ちたいと思います。

さて、3月は卒業、進学、進級に向けた準備の月になります。本校では、例年、卒業式で「決意 ～二十一世紀に生きる君たちへ～」を卒業生が合唱してきました。この曲は、副題に掲げられているように、二十一世紀に生きる子どもたちに向けて、歴史作家 司馬遼太郎さんが書いた随筆（エッセイ）に基づくメッセージソングです。この合唱を式歌として、全校生徒が聴くことにより、卒業生だけでなくすべての生徒がこれまでの中学校生活を振り返り、自分自身の成長を確かめるとともに、新年度に向けて新たな決意をもつ機会としてきました。残念ながら、昨年度、今年度と、飛沫感染防止の観点から、合唱を見合わせていますので、ここでその歌詞を紹介したいと思います。

**あなたの声に耳を澄まし**

**あなたの心にほとばしる愛を知る**

**歴史を愛し、自然を敬い**

**他人に優しく、自分に厳しかったあなた**

**先を歩いていったあなたの後ろ姿に**

**人間としてのあるべき生き方を学ぶ**

**今私たちはあなたの残したものを受け継いで**

**未来への一步を踏み出す**

**みどりの地球にあまねく、平和と幸せを届けるために**



校舎屋上から望むビル群

最後になりましたが、この1年間、保護者、地域の皆様には、本校の教育活動に格段のご理解・ご協力を賜りましたこと、改めまして心から感謝申し上げます。今後も、地域に根差し、保護者、地域の方々から信頼される学校づくりを目指して教職員一丸となり取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。